

授業のポイント

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

次の4つのポイントを意識して、「考え、議論する道徳」の授業を構想しました。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| ○ 問題意識を持たせる | ○ 自分との関わりで考えさせる |
| ○ 多面的・多角的に考えさせる | ○ 人間としての生き方について考えさせる |

中学校2年生 A-(1) 自主、自律、自由と責任 「ネット将棋」のポイント

<ねらい> 自分を律し、自分や社会に対して常に誠実でなければならないことを自覚し、人間として誇りを持った、責任ある行動をとろうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

導入

道徳的価値の理解を基に・・・

①<問題意識を持たせる> ②<自分との関わりで考えさせる>

・学級生活や部活動など、具体的な場面を提示し、普段の生活の中で責任を求められるのはどのようなときかを考えさせる。

③<自分との関わりで考えさせる>

・僕の行動の共感できる部分と共感できない部分について、これまでの自分の経験や感じ方と照らし合わせて考えさせる。

(発問) ○僕が勝負に負けそうになって勝手にログアウトしたことをどう思いますか。

④<多面的・多角的に考えさせる>

・僕が勝手にログアウトしたことについて、共感できる部分と共感できない部分の両面から考えさせる。

・ペアや全体で交流し、自分とは違う感じ方や考え方に触れさせる。

・中心的な発問で、ウェビングマップを活用し、僕が考えたことについて様々な見方や角度から考えさせる。

(中心的な発問) ◎みんなが笑う中、一人笑えなかった僕は、どのようなことを考えていたと思いますか。

⑤<人間としての生き方について考えさせる>

⑥<自分との関わりで考えさせる>

・責任を持つことについて、自分の生活を振り返らせ、具体的に考えさせる。

・ワークシートに書かせる時間を十分に確保し、自己を見つめさせる。

展開

終末